

# 授業科目                      教育方法・技術

【担当教員名】  佐藤 佐敏		対象学年	2	対象学科	健栄・スポ・看護
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	◎	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 教育方法とは教育の目標を実現する過程で行われる全ての実践の体系である。学校現場では、教師は学習指導要領に基づいて教科の指導計画を立案し、毎日の授業を行う。また、学級経営やクラブ経営、生徒指導の場面においても、様々な教育方法や技術を駆使している。それら教育方法や技術の根幹は、「生徒の人間形成」に携わる責務を負っている使命感と生徒に対する愛情であることを確認する。それとともに、場面に応じて最善の教育方法と技術を選択する実践力を培う。					
【学習目標・行動目標：SBO】 1 教育方法・技術に関心を持ち、その根幹にある教育哲学を説明できる。 2 教育方法・技術に関する基本的な知識を理解し、分かりやすく説明できる。 3 様々な指導場面に即した適切な教育方法・技術を選択できる。 4 授業において、適切な授業方法・技術を選択できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	教育方法とは何か、教育哲学の確認			1	講義、演習
2	授業方法論1（発問・指示）			1、4	講義、演習
3	授業方法論2（教材研究）			1、4	講義、演習
4	授業方法論3（机間支援・学習形態・評価）			1、4	講義、演習
5	短学活における指導1（危機管理指導）			1、3	講義、演習
6	短学活における指導2（生活・規律指導）			1、3	講義、演習
7	生徒指導における教育方法と技術			1、3	講義、演習
8	学級経営における教育方法と技術			1、3	講義、演習
9	教育課程と職員連携1			1,3	講義、演習
10	教育課程と職員連携2			1,3	講義、演習
11	保護者対応と教育方法			1,3	講義、演習
12	教育学、教育方法学の歴史の変遷1			2	講義
13	教育学、教育方法学の歴史の変遷2			2	講義
14	授業方法と技術の実践			1、4	講義、演習
15	これからの教育（学習のまとめ）			1, 2, 3, 4	まとめ
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		後日提示します			
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席を重視します。それに加え、授業中の演習状況、レポート、テストを総合的に判断して評価します。			【履修上の留意点】 演習をたくさん取り入れます。「仲間とともに学ぶ」ことを大切にします。話し合いや模擬場面は楽しくできるとは思いますが、自己表現を苦手とする学生には負荷がかかります。演習場面が多いことを十分了解した上で、履修しましょう。		